ケース２
愛知県豊田市におけるケーススタディ

ゴールごとの達成度

愛知県豊田市における評価結果を以下に示します. 豊田市の全ゴール平均の達成度は73%であり, 全国都道府県平均よりも1ポイント高い値を示しています. ゴールごとの達成度を見ると, ゴール1, ゴール3, ゴール4, ゴール6, ゴール9で高い達成度を示していますが, ゴール5は全国と比べてもさらに低い21%, ゴール2の達成度も低い傾向にあります.

全国平均との差

全国平均との差を見ると, まずは全国平均よりも特に高い項目としてゴール1とゴール12が挙げられています. 豊田市は全国的に見ると, 産業や雇用が好調であることから, 相対的貧困率や生活保護受給世帯の割合が小さいことが大きな要因となっています. また, ゴール12については, 豊田市を含む愛知県全域は早くからごみ問題に着手しており, ごみ袋の有料化をはじめとして分別やリサイクルなどの実施が徹底していることが影響している可能性があります. また, ゴール17も高い傾向にあり, 財政力やインターネット普及率に加え, SDGs未来都市として市民のSDGsに対する認知度も全国的には高い傾向にあることが要因として想定されます.

一方, 全国よりも低い項目として, ゴール2とゴール10が挙げられます. ゴール2については, 豊田市は専業農家が少なく兼業農家が多い傾向にあること, 1つ1つの耕地面積が小さいことなどが想定されます. また, ゴール10については, 製造業の割合が特に高いことから, 労働分配率が全国と比べて低くなってしまうことが要因となっている可能性があります. その結果は, ゴール1が高い水準であることと矛盾しません.

2015 年からの変化

2015年からの変化を確認すると, ゴール6やゴール15については改善の傾向がみられていますが, ゴール5やゴール8, ゴール12, そしてゴール16で低下傾向がみられています. これらの項目の改善が, 今後のSDGs達成度向上に向けての重要なポイントとなる可能性が示唆されています.